

---

## ハラスメント

---

昭和音楽大学並びに昭和音楽大学短期大学部では、全ての学生および教職員が個人として尊重され、ハラスメントのない良好な環境において修学又は就労しうよう、ハラスメントを防止する諸施策をすすめてゆきます。キャンパスにおいて起こりうるハラスメント問題は、主にセクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメントがあげられます。

**セクシュアル・ハラスメント**：セクシュアル・ハラスメントとは、意図しているかどうかに関わらず、相手に性的に不快と思われる言動で人格を傷つけることです。セクシュアル・ハラスメントは、言葉によるもの、行動によるもの、視覚によるものなどが考えられます。

**地位利用型：**

先輩・後輩、教職員・学生といった力関係を利用して、性的な誘いかけや不快な言動を行う場合。

**対価型：**

性的な誘いかけを受けるか受けないかで相手に利益や不利益を与える場合。

**環境型：**

わいせつな写真や画像を提示して職場や教育環境を悪化させる場合。

**アカデミック・ハラスメント**：アカデミック・ハラスメントとは、教育研究の場において、優位な地位や立場にある者が不適切な言動や指導を行うことで、学修研究環境を悪化させることです。

**パワー・ハラスメント**：パワー・ハラスメントとは、職場において優位な地位や立場にある者が行う不適切な言動・指導のことで、就労意欲、就労環境を悪化させることです。

ハラスメントが巧妙に行われる場合には、被害を受けているにもかかわらず、自分の思い違いではないかと考えたり、自分にスキがあったからだと自分を責めたりしてしまうこともあります。それを「習慣」として受け入れる必要はありませんし、「冗談」にして済まされるようなことでもありません。どのようなハラスメントも許さないという態度を持ち続けてほしいものです。

これらの行為は個人の人格的尊厳を傷つけ、人権を侵害すると同時に、大学の拠って立つ学問の自由そのものを侵害すると言って良いでしょう。もしこのようなことで少しでも悩んでいるなら、1人で悩まずに遠慮なく相談員に話してください。解決に向けて一緒に話し合っていきましょう。

担任、学生相談室、保健室が最初の窓口になることも可能です。

一人で悩まない。これが基本です。